2022 年 1 月 11 日（火）

① インフレ

4 日、ポーランド国立銀行が世界の中銀で 2022 年初の引き締めに動いた。
政策金利を年 2.25%まで 0.5%引き上げただけでなく「22 年もインフレ率は高止まりする」として数カ月以内の追加引き締めを示唆した。
ポーランドでは経済回復や電気・ガスの値上がりで、21 年 12 月の消費者物価指数（CPI）の前年同月比上昇率が 8.6%と、物価目標 2.5%の 3 倍を超えている。

米バンク・オブ・アメリカは 5 日付のリポートで、欧州の電気・ガス料金は 20 年に 1 世帯あたり年平均で約 1200 ユーロ（約 15 万 7 千円）。
これが 21 年は約 1450 ユーロ、22 年は伸びが加速して約 1850 ユーロになると予想した。
わずか 2 年で 5 割も跳ね上がる計算だ。
企業や工場など産業向けの価格は 22 年に電気が前年比 7 割上げ、ガスは約 2 倍になる見込みだという。

英国は 2 月 3 日の金融政策の発表で 0.5%へ追加利上げするとの市場予想が多い。
この金利水準になれば再投資を止めて債券の持ち高を減らす量の引き締めも検討し始める見通しだ。
雇用も堅調なため「今回の引き締めサイクルは前回よりも強く速い可能性が高い」（ドイツ銀行のサンジェイ・ラジャ氏）との声がある。
金利先物は年内に 3 回の利上げで政策金利が 1%以上になる可能性を織り込んでいる。

仏アムンディ・アセット・マネジメントは 22 年の市場展望で、世界の長期的なインフレ率について「（コロナ）危機前の水準に戻ることはないだろう」と指摘した。
気候変動対策といった構造変化も挙げ、成長が鈍化し始めるなかでインフレに直面する今年は投資の転換点になるとみている。

② 利上げ

JP モルガンのエコノミストは先週、利上げ開始の予想時期を 6 月から 3 月に前倒しし、その後四半期ごとに利上げするとの見通しを示した。
同社のダイモン CEO は 10 日の米 CNBC の番組で
「予想以上にインフレが悪化し、人々が思っている以上に利上げが進む可能性もある」
と指摘した。
「個人的には年 4 回だけの利上げなら驚きだ」とも述べ、それ以上の引き締めが進む可能性もあるとの認識を示した。

米金利先物市場の動きから金融政策を予測する「フェドウオッチ」によると、3 月半ばの FOMC で利上げするとの予想が 10 日昼時点で 8 割近くに達した。
1 週間前から 2 割ほど高まった。
22 年中に 4 回以上の利上げ予想も過半を超えている。

③ 米国国債利回り

2 年国債利回りは 0.9%台に。
10 年国債利回りは一時 1.8%台に

米国債券2年利回り	0.902	▲3.72%	+0.032	H:0.910 L:0.864	06:04
米国債券5年利回り	1.525	▲1.34%	+0.020	H:1.553 L:1.505	06:07
米国債券10年利回り	1.766	▼0.19%	-0.003	H:1.808 L:1.764	06:09
米国債券30年利回り	2.095	▼1.00%	-0.021	H:2.151 L:2.092	06:09

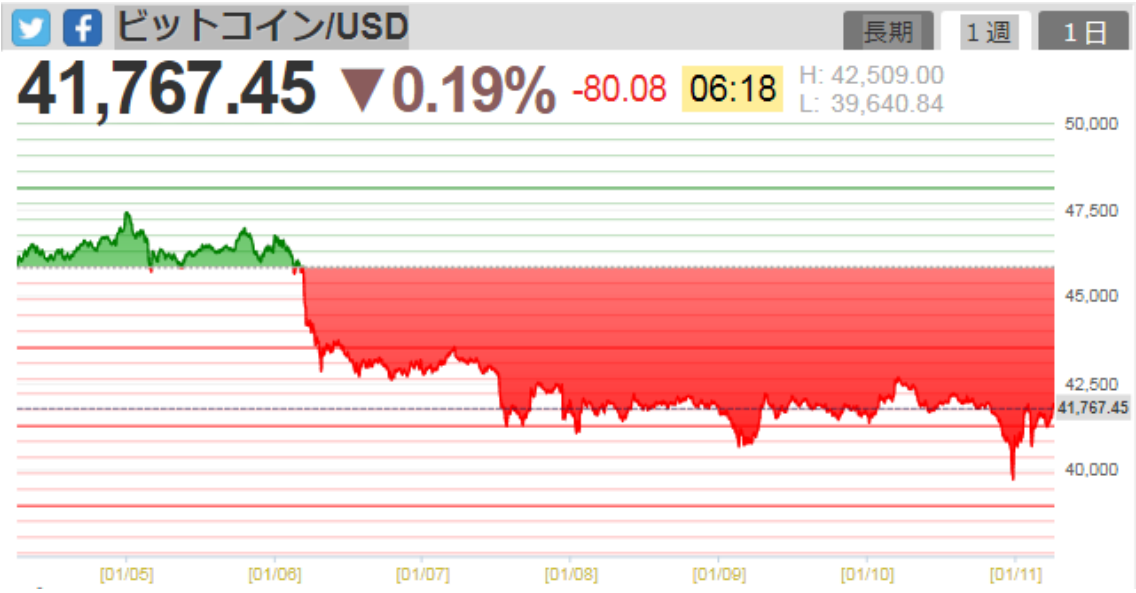
④ NASDAQ

一時 14530 まであったものの大きく戻る。

⑤ 為替

リスク回避の円高傾向。

ドル円	115.230	▼0.33%	-0.381	H:115.849 L:115.044	06:28
ユーロ円	130.519	▼0.58%	-0.767	H:131.366 L:130.166	06:28
ポンド円	156.44	▼0.35%	-0.55	H:157.37 L:155.96	06:28
スイスフラン円	124.27	▼1.20%	-1.51	H:125.89 L:124.24	06:28
豪ドル円	82.67	▼0.34%	-0.28	H:83.36 L:82.34	06:28

⑥ ビットコイン

安値更新。